

らぷらす防災講座

地域で考える

一番大事なトイレのこと

災害時のトイレ、
どうしますか？



災害用備蓄トイレ展示付き(自由見学)

被災地の声から、災害時のトイレにはさまざまな問題があることが知られるようになってきました。避難所だけでなく、自宅で避難生活をおくる人にも、トイレの衛生状況の悪化や使いにくさが発端となり、健康や人間の尊厳が損なわれていくといった、さらに重篤な問題が引き起こされていきます。多様な人の多様なトイレニーズをみたすトイレを確保することや、きれいで誰もが安心して使えるトイレを維持・管理することは、地域で暮らすみんなのいのちを守ることに繋がります。災害時にみんなが困るトイレの問題や平時からの備えについて、一緒に考えてみませんか。

◆開催日時：**3月10日 土** 午後1時～4時

◆会場：世田谷区立男女共同参画センターらぷらす 研修室 3・4

◆講師：浦野愛（特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事）
京百合子（目黒星美学園中学高等学校教諭）

◆対象：防災に関心がある方 50人

◆参加費：無料

◆保育：5か月～就学前まで（要予約）

◆申し込み：2月1日（木）午前10時より、電話・FAX またはらぷらすのホームページから電子メールで受け付けます。（先着順）

* FAXの場合は、講座名・住所・氏名・電話番号・保育の有無（保育を希望の場合は、子どもの名前と年齢）を明記してください。

* 申し込みの際にいただく住所、氏名、電話番号等の個人情報は、参加者名簿の作成、キャンセル待ち登録名簿の作成および必要な場合の連絡以外の目的に使用しません。



ダンボール製
簡易トイレ

申し込み・問い合わせ先

世田谷区立男女共同参画センターらぷらす

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂1-12-40 グレート王寿ビル3階

TEL 03-6450-8510 / FAX 03-6450-8511

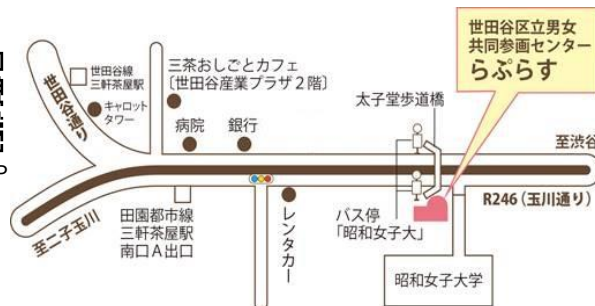
らぷらすの情報は、以下のホームページでご覧になれます。

らぷらすHP <http://www.laplace-setagaya.net>

世田谷区HP [施設](#) → [暮らし・生活関連施設](#) → [男女共同参画センターらぷらす](#)



らぷらすHP



東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅下車 徒歩7分

東急バス・小田急バス「昭和女子大」下車

小田急バス（駒沢陸橋～北沢タウンホール）「三軒茶屋」下車

講座内容

日時 3月10日(土) 午後1時~4時

会場 世田谷区立男女共同参画センターらぶらす 研修室3・4

	内容
13:00~14:30 (90分)	講義1「発災後のトイレ事情の実態と環境改善に向けたその後の対応」 講師：浦野愛（特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事）
	講義2「中学・高校での防災教育（災害時のトイレ問題）への取り組み」 講師：京百合子（目黒星美学園中学高等学校教諭）
14:30~15:30 (60分)	情報提供 フリーディスカッション、Q & A まとめ
15:30~16:00 (30分)	災害用備蓄トイレの展示（自由見学） ▶避難所で使用するマンホールトイレや在宅避難（自宅用）・携帯用トイレの展示 ▶協力企業による商品・使い方の紹介

講師紹介



浦野 愛（うらの あい）

特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事

阪神・淡路大震災では、同朋大学の学生が設立した支援サークル「同朋大学ボランティアネットワーク」に所属し、被災者支援にあたった。

卒業後、特別養護老人ホームデイサービスセンターで寮母として勤務したのち、レスキューストックヤードの設立と同時に事務局スタッフとなり、2004年度より事務局長、2009年度より常務理事を務める。

災害時要援護者への支援事業を中心に、地域防災・災害ボランティア等、各種講演会・講座講師、支援プログラムの企画・運営を行っている。社会福祉士。



京 百合子（きょう ゆりこ）

目黒星美学園中学高等学校教諭

東北大学経済学部経済学科卒業後、2008年4月から現職。

2012年から、年に2回実施している宮城県での「被災地ボランティア研修」において、被災当時、深刻な「災害時のトイレ問題」が発生したという体験談を聞いたことがきっかけとなり、防災教育を始める。

現在は、生徒たちが主体となり、「私たちは未来の被災者」を合言葉に地域での防災活動に力を入れている。

世田谷区防災会議女性の視点部会委員。

